

2/10(木)海外で活躍する里大輔さんとの交流

この日の3校時、「パフォーマンス・アーキテクト」(パフォーマンスの設計者)という仕事で活躍されている里大輔さんとリモートで交流を行いました。

里さんは、長崎市出身で、現在はフランスを中心にスポーツ選手の指導やサポートをされています。教頭先生が陸上の指導をしていたというつながりもあり、交流の機会を作っていただきました。アスリートの「スピードを上げる」ための指導を研究し、これまで多くのスポーツ選手の指導に関わってこられたとのことでした。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、残念ながら池島に来ていただくことはできませんでしたが、リモートの画面越しでハイタッチをするなど、明るい雰囲気の中で交流をさせていただきました。

里さんが伝えたいこと「行動すれば助けてくれる人がいる」

里さんは世界で活躍されている理由。そこには「夢をなぜかあきらめなかった」という思いがあったそうです。陸上の短距離走で活躍し、将来はオリンピックに出場したいという夢を抱いていた里選手。残念ながら、けがなどもあり、夢をかなえることはできなかったのですが、「自分から行動する」「みんながしないようなこと(きついこと)をやり続ける」ということを意識し行動したことで、周りの人がサポートしてくれるようになり、今の成功につながっているということでした。

- 「夢や希望に大きい小さいもない。
自分の気持ちを大切にしてほしい。」
- 「続けていたら自分の能力が上がる。
周りがサポートしてくれることもある。」

Action Always Beat Reaction
仕掛けた者が常に勝つ

里さんから学んだこと「まずは正直であること」

子どもたち、教員から様々な質問をさせていただきました。「サポートされるようになるためには？」という質問に対しては「まずは正直であること」が大切とのことでした。

そして、他の質問と関わって、「思いをもって言葉を発すること」「伝えたいと思うことを伝えること」「人に自分のことを知ってもらおうとすること」などの大切さについても話をさせていただきました。

また、今回の交流については「いろいろなことを学びたい、成長したいと思っている。今回のリモートも分かりやすく伝えたいと考えている」とのことでした。普段から多くの方々と交流されている里さん。自分のことを知ってもらおうと工夫し、コミュニケーション力を高めようと努力されているのだと思います。里さんの向上心からは学ぶべきところがたくさんありました。



画面越しのやさしい笑顔の里さん

あっという間に過ぎた時間。なりたかった仕事や休日の過ごし方、好きなお菓子の話もしてくださいました。池島っ子たちも「もっとたくさん話がしたい」と思ったようでした。